



御所東だより

学校評価号

京都市立御所東小学校
令和3年3月24日
校長 高橋 明希

2月に第2回学校評価アンケートを実施いたしました。アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートを分析する中でわかった成果と課題を来年度の学校教育活動に活かしていきたいと思ひます。

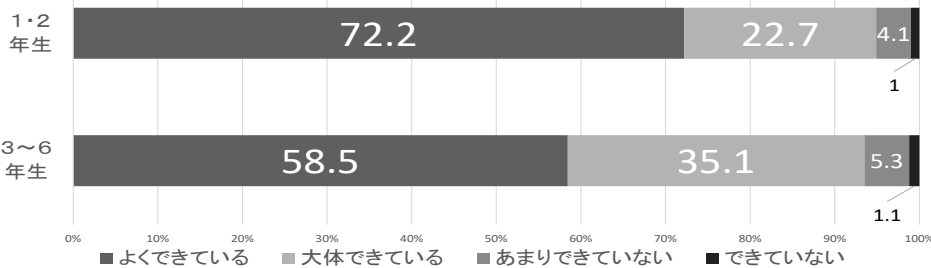
学校教育目標

笑顔 夢 ひらめきいっぱい御所東

めざす子ども像

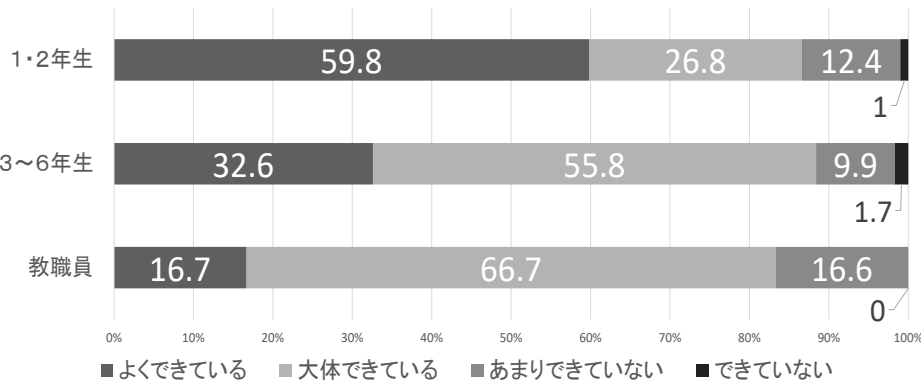
探究する子 挑戦する子 やさしく、たくましい子

～確かな学力～



目的に合わせて自分の思いや考えを書くことができますか。

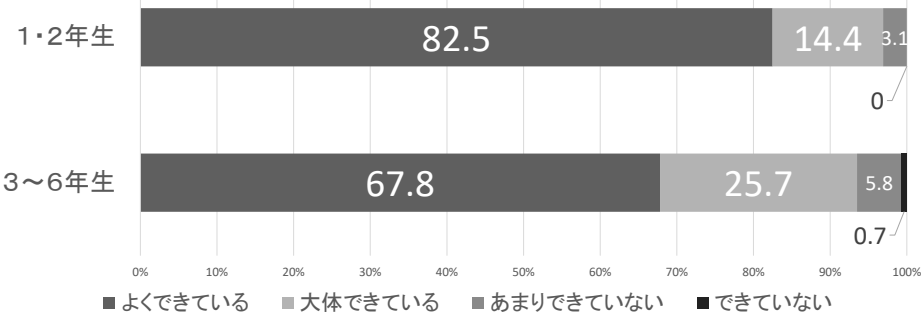
低学年、中・高学年どちらの児童も「よくできている」「大体できている」と答えた割合が90%を越えています。どの教科の授業でも、自分の思いや考えを書く時間を設定し、一人一人が自分の考えをもって話し合いの活動に取り組むようにしています。しかし、ジョイントプログラム・プレジョイントでは、「説明する」「考えを伝える」等に課題がある学年もありました。目的に合わせて自分の思いや考えを書く力を育てるよう、来年度も取組を進めます。



学習のめあてがわかり、そのめあてに合ったふり返りをし、どのような力が自分に付いたか確かめることができますか。

低学年は86.6%、中・高学年は88.4%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しました。教師アンケートでも肯定的な回答は、第1回学校評価よりも高い結果となっています。今年度は、例年より5分短い40分授業の中でふり返りまで行うことが担任には難しい場面もあったようですが、どのクラスも「めあて」と「ふり返り」は定着しつつあるようです。「めあて」を明確にし、できるようになった、わかるようになったと感じられる授業づくりに取り組んでいきます。

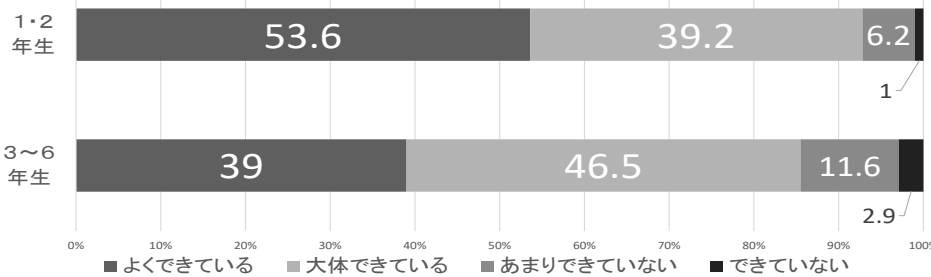
～豊かな心～



自分から進んであいさつできていますか。

どの学年の児童も非常に高い割合で「よくできている」「大体できている」と回答しています。低学年では96.9%、中・高学年では93.5%でした。保護者アンケートの結果では、86.8%が「子どもにあいさつするよう働きかけている」、教職員では100%となっています。保護者アンケート自由記述でも、子どもたちが校内、校区内であいさつができているというご意見をいただいています。学校・家庭・地域で連携して子どもに関わっていくことで、子どもたちの姿が変わることを「あいさつ」を通して証明することができたと考えています。

～健やかな体～



健康に過ごすために運動・睡眠・食事のことを考えて生活していますか。

休み時間には多くの子どもたちが運動場で遊んでいます。体力アップタイムでは、月ごとに運動遊びの種目を変えて、子どもたちが楽しんで体を動かすことができるよう取り組んでいます。子どもたち自身が自分の健康な体について考えることができるよう、保健学習や保健指導の充実を図ります。また、来年度も新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの学校教育活動になります。ご家庭での感染対策にも引き続きご協力をお願いします。

【保護者アンケート自由記述より】

- ・学校生活を通じて子どもの成長を見ることができうれしく思います。 ・学校が楽しいと子どもの姿から伝わってくる。
- ・参観がないのでわかりにくいですが、子どもが学校がとても楽しいと言うのでとてもうれしく思っている。
- ・親も学校での様子を見に行く機会もなく、子どもから話を聞くしかないのでは評価は的確ではないとは思いますが、この状況下でも、子どもは楽しく学校に通えていることが何よりも評価できる点かと思う。
→第2回学校評価では、授業参観が行えない中、「子どもたちの姿から評価してください」とお願いしていました。このような状況の中でも教職員と子どもたちができることを見つけて考えて取り組んでいたことを評価していただけたと考えます。
- ・御所東小の子どもにマンションなどで出会った時、きちんとあいさつができる児童が多く、また礼儀正しいのでいいことだなと思っています。
→保護者の皆様や地域の皆様に、登下校見守っていただきそしてあいさつの声もかけていただいていることも、子どもたちがあいさつをしっかりとできるようになったことにつながっています。今後も取組を続け、誰とでも気持ちのよいあいさつを交わし合える御所東小学校の校区にしていきたいと思ひます。
- ・「えがお日記」がうまく活用できていないのではないかと。毎回褒めるのも変だと思ひます。 ・「えがお日記」に本当に取り組んでいるのか。
→「えがお日記」は、文章力育成を目的としているわけではなく、子どもたちの自尊感情を高めるための取組です。子どもたちの毎日の生活の中で少しでも頑張っていることを認め、褒めて、子どもが自信をもって進んでいけるようにしたいと考えています。しかし、その取組がしっかりとできていないところは改善していかないとはいけません。教職員内で再確認し、再検討して来年度も取組を継続していきます。保護者の皆様にもご協力をお願いしたいと思ひます。
- ・オンライン授業に向けてどのような取組がなされているのか。
→1人1台のGIGA端末、各教室に大型テレビが入りました。今年度は少しずつ各クラスで使い慣れるように取り組んできました。来年度になりましたら、各学年の子どもたちの実態に合わせてながら、授業での活用と子どもたちの活用能力の育成に取り組んでいきます。